

30分間研修レシピシート

研修内容	安全帯を正しく使おう。胴ベルトタイプ編	
対象	作業員・職長	人数
目的	胴ベルト安全帯を適切な場所で、適切に使わせる	
使用ツール	資料、安全帯(普段使っているもの)	
受講後どうなっ て欲しいか	(誰が)	作業員全員 (いつから) 即日
	(どうなる)	作業所内で安全帯使わなければならない場所を理解する。着用方法を見直し、不具合の点検を行う。
大事なポイント (3つまで)	1	安全帯を使わなければならない場所と作業を理解する。
	2	胴ベルト安全帯の正しい着用方法を理解し、実施する。
	3	自主点検し、不具合のあるものは交換する必要性を理解する。
時間	内容	
5min	挨拶～研修内容のポイントの説明 ★事前に自分たちが持ってきた安全帯を点検してもらおう。	
10min	1 安全帯の今後 フルハーネス安全帯が義務化の話。2022年から完全移行になる予定であると、軽く触れておく。 ただし大事なのは、墜落防止設備です！ 2 安全帯はなぜ必要か？ 資料P2 法的に安全帯を必要とする場所の確認。足場を通行するだけなら不要、作業時は必要。今の作業場で安全帯を使う場所、作業は何かをG討議。発表してもらう。(特に高所作業をする業者に)	3分
15min	3 安全帯を点検しよう 資料P3 資料P3を参考に、持参した安全帯を点検してもらう。資料にある該当箇所に○をつける。使用し始めてどれくらいの期間が経つのかも確認する。(金具の刻印等をチェック) 不具合や経年劣化が激しい安全帯について、どうするか考える。(理想は、元請けが支給する)	4分
20min	4 安全帯を正しく装着しよう 資料P4 資料P4を見て、着用時のポイントを確認。実際に着用して、チェックする。位置と緩みG内でお互いにチェックさせる。	4分
25min	5 安全帯使用時の注意点を確認 資料P5 フックを取り付ける位置について、質問する。(D環より高い位置) 吊られた後の対処についても説明。長時間は耐えられない。落下した際の対応について、G討議。救助方法、体制を一緒に決める。	5分
30min	6 クロージング 資料P2と資料P5について、再度確認する。使用する場所と作業について、コミットメントをとる。大事なポイントを繰り返す。	